

かわさきTMO通信

＜毎度おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです＞

2014年3月号 No.52

- 回遊性部会報告
- 提言部会報告
- イベント部会報告
- 事務局だより

発行元：川崎商工会議所
 発行責任者：会長 猪熊俊夫
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克
 発行日：2014年3月25日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：044-211-4114
 FAX：044-211-4118
 Email：
 sasahara@kawasaki-cci.or.jp
 「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

◇回遊性部会報告

回遊性部会は、大きく三つの事業を展開しています。

一つは街に音楽をという目的で銀座街及び砂子通りの「バスカー」が定着しました。「音楽の街」を身近なところで体感して、音楽に情熱を燃やしている若者が表現できる場として、育ってきました。これらは、主催者となつて銀座街および砂子通りの商店街の力といえます。



次に「オープンカフェ」の実験事業があります。オープンカフェは、公道

(街路)をただ交通のためだけでなく、

広場的にそして楽しい空間とすることを目的として、パラソルと椅子をおいて、道行く人にゆつくりと休んでもらう、楽しんでもらう場所づくりです。通常では、公道でそのようなことをすることは禁じられております。そのため、オープンカフェは全国的にも実現できた場所は限られています。その実験を川崎駅前でおこなっております。一定のルールに基づいて、富士見公園までの街なかゆつくりやすみながら回れる街づくりを目指しています。



三番目に「回遊性をつくる交通システム」を検討しています。川崎駅を中心として東口、西口を回遊するワンコインバスの提案と実験。同じように、駅周辺地区を手軽に安全に走りまわる電気自動車やペロタクシーのような自転車の検討を行っています。

(タウンマネージャー 笹原克)

◇事務局だより

今号が平成25年度かわさきTMO通信の最終号となりますので、次年度TMOの春先の活動を少しご紹介させていただきます。

来街外国人を対象として現在編集中の「国際化マップ」(仮称)は5月の連休明け発行を目指しております。観光やビジネスで川崎を訪れる外国人の視点に立つて必要なお店や施設、交通情報をセレクトした内容で、A4版6Pの小冊子形式となる予定です。完成次第、川崎駅周辺のホテルをはじめ、関係機関に配付させていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、同じく5月連休明けには、川崎フロンティアビル前歩行者専用道で昨年春・秋に続いて3度目となるオープンカフェを実施いたします。昨年秋の開設時におこなったアンケートでは「街中で一休みしたい時に便利である」「常設を望む」との回答を多くいただいております。TMO会員の皆様にもぜひランチタイム等でご活用いただき感想をお寄せいただければ幸いです。

(事務局 六反友佳里)

◇提言部会報告

提言部会では、「川崎駅南口改札口の「新設」と「川崎駅東口に大型バス停駐車場の新設」を提言しています。これまでも、TMO通信を通じて、お伝えしてきました。これら二つの提言は、まだ実現には至っていませんが、提言しっぱなしとならないように、あらゆる機会を通じて、重ね重ねて声をあげていくことが大切であると認識して進めております。ちなみに、高速路線バス停留所（チッタフットサル場前）では、現在月間で約1万人の利用者を数えております。この高速路線バス停留所の開設を最初のステップとして、川崎駅南側にバス拠点を形成することをめざしていきます。

これら二つの提言は、川崎市長、川崎市議会議長、JR川崎駅長などに提出してきました。この二つの他にもいくつかの提言を検討しておりますので、紹介します。

■「街の国際化」にむけての検討と提言をまとめています。特に羽田空港の国際化の強化にともない、空港に隣接する川崎においても様々な国際化への対応を求められました。提言部会では、ホテルへのアンケート、国際

化対応への専門家による講演会の開催をおこない、「ワンストップの外国人案内所」の設置を検討しており、提言へとむすびつけていく方向でおります。

■回遊性部会で研究、企画、実験をおこなってきた「川崎駅周辺回遊性交通システムとしてのワンコインバス」の検討を提言部会として引き継ぎ、川崎区民会議の場での検討を牽引してきました。さらに、ワンコインバスを展覧させて「ライトレール・トランジット（LRT）」（軽量のモダンな路面電車）の検討をおこなっております。

■歩行者天国（ストリートミーティング）の展開を検討しております。回遊性部会で実験している「オープンカフェ」の発展形として公道を広場化することで、歩行者が中心の街の姿を変えてしまおうとしております。オープンカフェを拡大していくためにも、歩行者天国の実行を検討しております。

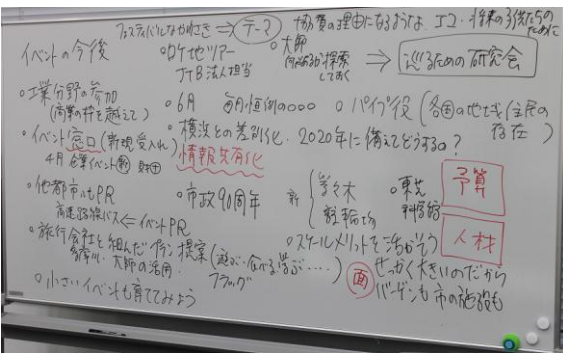
■フルマラソンを川崎の都市マラソンとする提案を検討しています。現在、川崎国際多摩川マラソンはハーフマラソンですが、これをフルマラソンにしてもらいたいものです。

（タウンマネージャー 笹原克）

◇イベント部会報告

イベントサミットが去る3月5日に商工会議所で開催されました。イベントサミットは、川崎駅周辺で行われる様々なイベントの情報交換及び相互のイベント同士の連携を図ることを目的として開かれています。

参加団体は、かわさき阿波おどり、川崎みなと祭り、酒合戦・水鳥の祭、川崎市消費生活展、いいじゃんかわさき、連連つながりかわさき、カワサキハロウィン、桜本商店街振興組合日本のみつり、映像のまち・かわさき、川崎市商店街連合会、川崎市産業振興財団、川崎市商業観光課と主催であるかわさきTMOとなりました。



本音の意見が活発に交わされたイベントサミット。当日使用のホワイトボードです。

会議ではいくつかのポイントとなる意見が交わされました。それらを取り上げてご報告します。

■年間を通じて、各イベントが「共通のテーマ」を設定してできないか

■年間の川崎で行われるイベントのスケジュールの発信とイベントに関する情報発信の窓口がほしい

■イベントは主に商業系が中心になって行っているが、工業系との関係が川崎のらしさを打ち出せる

■イベントと観光とのコラボレーションやドッキングさせる企画を、旅行会社と組んでみる

■今年は今制90年でもあり、「共通テーマ」の一つになりうるのではない

■川崎駅周辺では、概ね毎月イベントがあるが、6月だけがない。なにか6月のイベントが育てられないか

■イベントと大型店のセールなどと組み合わせ、街全体でもりあがることのできないか

他にもたくさん意見が出ましたが、これらを実現可能なものから、手を広げてまいります。とくに、情報の発信は早急にはじめます。

（タウンマネージャー 笹原克）